

インフルエンザ週報 2016年 第8週 (2月22日～2月28日)

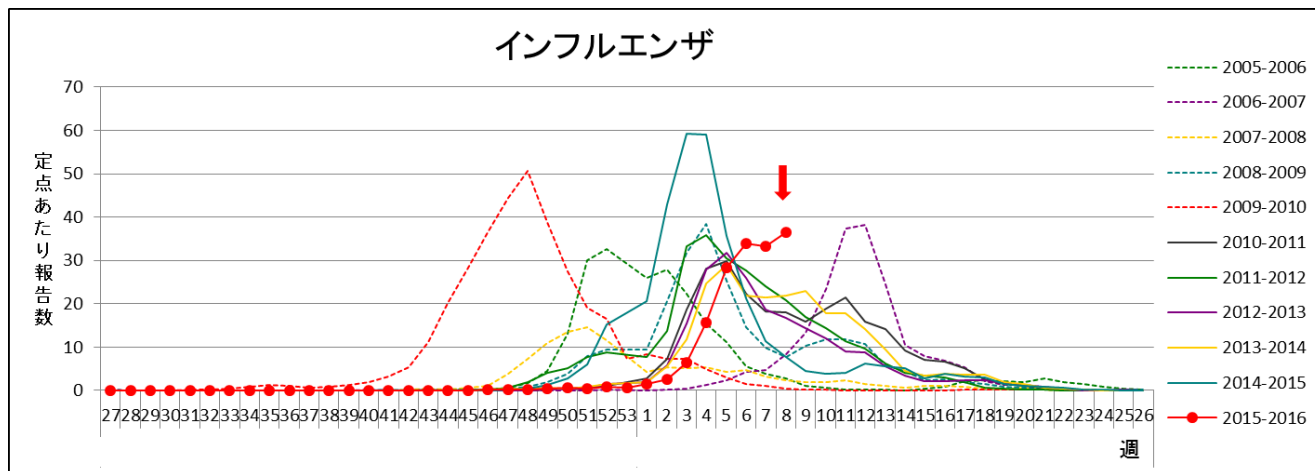
岡山県は『インフルエンザ警報』発令中です

➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で 3069 名（定点あたり 36.54 人）の報告がありました。（84 定点医療機関報告）
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が 117 施設でありました。
- インフルエンザによる入院患者 9 名の報告がありました。

【第9週 速報】

- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が 122 施設でありました。（2月29日～3月3日）



インフルエンザは、県全体で 3069 名（定点あたり 33.25 → 36.54 人）の報告があり、今シーズン最も多くなりました。岡山県は、2月18日『インフルエンザ警報』を発令し、広く注意を呼びかけています。

地域別では、倉敷市（61.06 人）、真庭地域（43.33 人）、備中地域（35.83 人）の順で定点あたり報告数が多くなっており、特に真庭地域（43.33 人）では、前週（21.33 人）より大きく増加し、新たに発生レベル 3 になりました。県内全域で大きな流行が継続しています。

第8週学校等の臨時休業は、前週（118 施設）とほぼ同数の 117 施設から報告がありました。第9週もすでに多くの施設から報告されているため、ひきつづき幼稚園・小学校・中学校を中心とした集団の中での感染に注意してください。

『外出後や食事前の手洗いを徹底する。』『人混みを避け、人混みに入るときはマスクを着用する。』『十分な睡眠を取る。』など、感染予防に努めてください。また症状のある方は早めに医療機関を受診するとともに、マスクを着用するなど咳エチケットを心がけましょう。

**◆インフルエンザは流行期に入っています。
さらなる感染予防に努めましょう。**

【 予 防 】

- * 外出後は手洗いをしましょう。アルコールを含んだ消毒剤で手を消毒するのも効果的です。
- * 人混みでは、マスクを着用しましょう。
- * 十分な睡眠をとり、バランスの良い食事を心がけて、抵抗力をつけましょう。
- * 室内では加湿器を使うなど、適度な湿度(50～60%)を保ちましょう。

【 かかったかな？という時には 】

- * 早めに医療機関を受診しましょう。
- * 周りの人にうつさないように、「咳エチケット」を心がけましょう。
- * 水分を十分にとり、安静にして休養をとりましょう。

1.地域別発生状況

前週からの推移（単位：人）

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	3069		備 中	患者数	430	
	定点あたり	36.54			定点あたり	35.83	
岡山市	患者数	660		備 北	患者数	195	
	定点あたり	30.00			定点あたり	32.50	
倉敷市	患者数	977		真 庭	患者数	130	
	定点あたり	61.06			定点あたり	43.33	
備 前	患者数	436		美 作	患者数	241	
	定点あたり	29.07			定点あたり	24.10	

【記号の説明】 前週からの推移

↓：2倍以上の減少

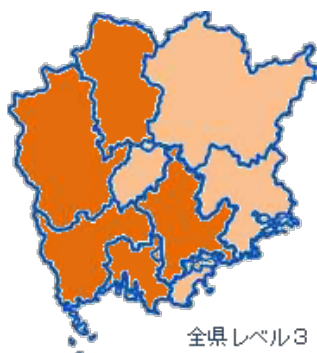
↘：1.1～2倍未満の減少

→：1.1未満の増減

↗：1.1～2倍未満の増加

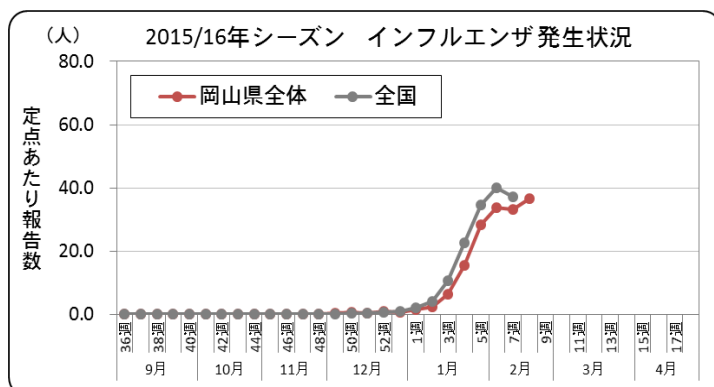
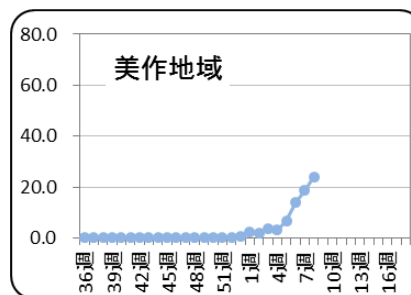
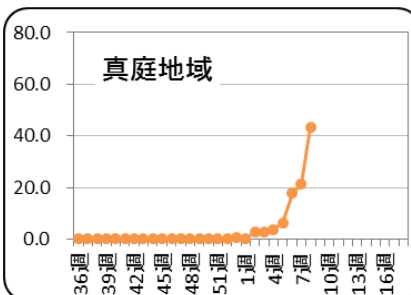
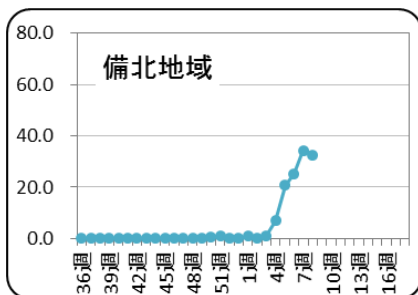
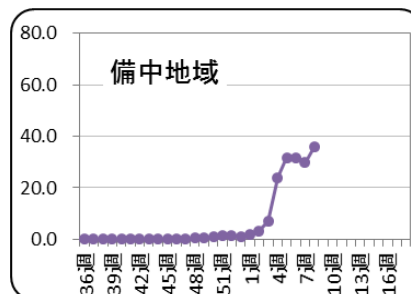
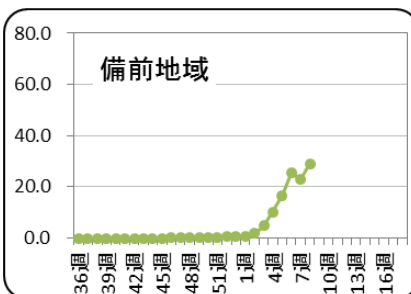
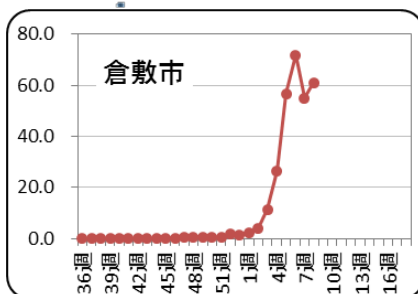
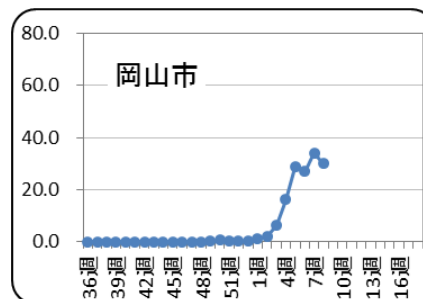
↑：2倍以上の増加

インフルエンザ感染症マップ



<インフルエンザ発生レベル 基準>

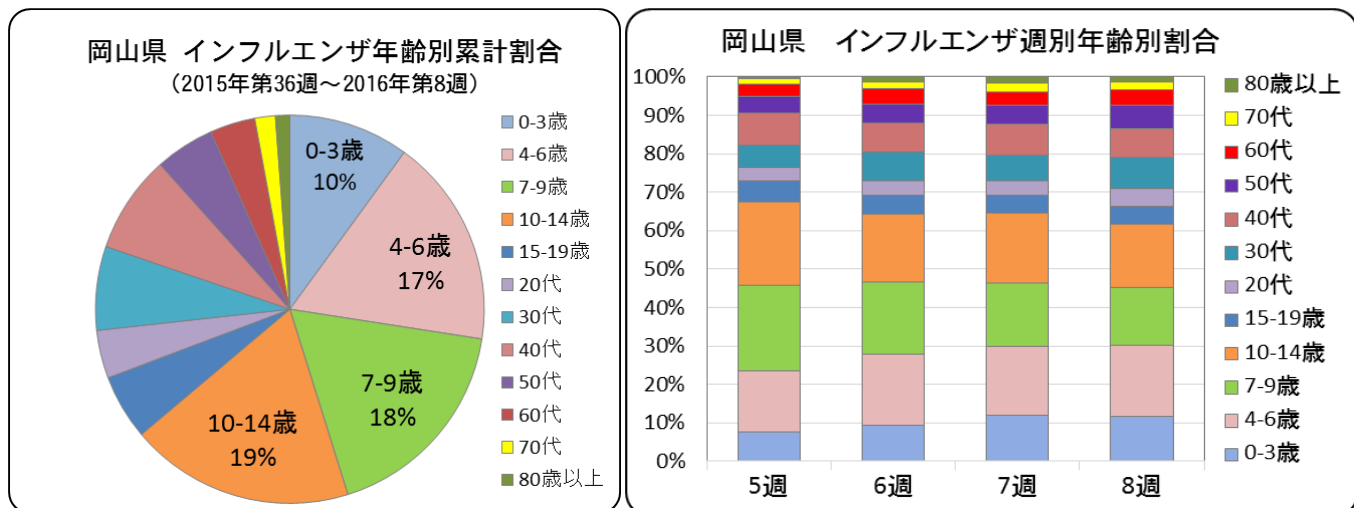
レベル3		レベル2
開始基準値	終息基準値	基準値
30	10	10以上 30未満
レベル1		報告なし
基準値	基準値	基準値
0< 10未満		0



全国集計第7週（2/15～2/21）速報値によると、全国の定点あたり報告数は37.16人となり、前週（39.97人）より減少しました。都道府県別では、愛知県（55.52人）、広島県（46.93人）、石川県（45.27人）の順で定点あたり報告数が多くなっており、26都道府県で前週の報告数より減少しました。

2. 年齢別発生状況

今シーズンの年齢別累計割合は、10-14歳 19%、7-9歳 18%、4-6歳 17%の順で高くなっています。



3. インフルエンザウイルス検出状況

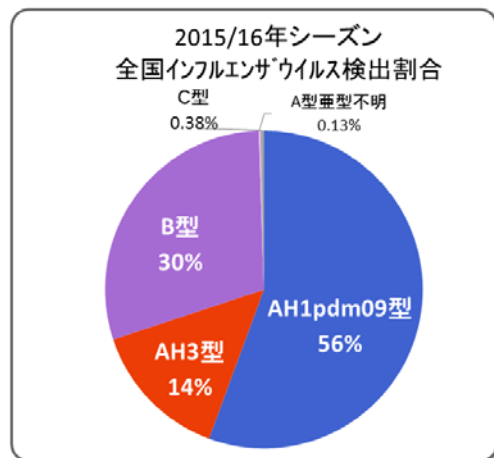
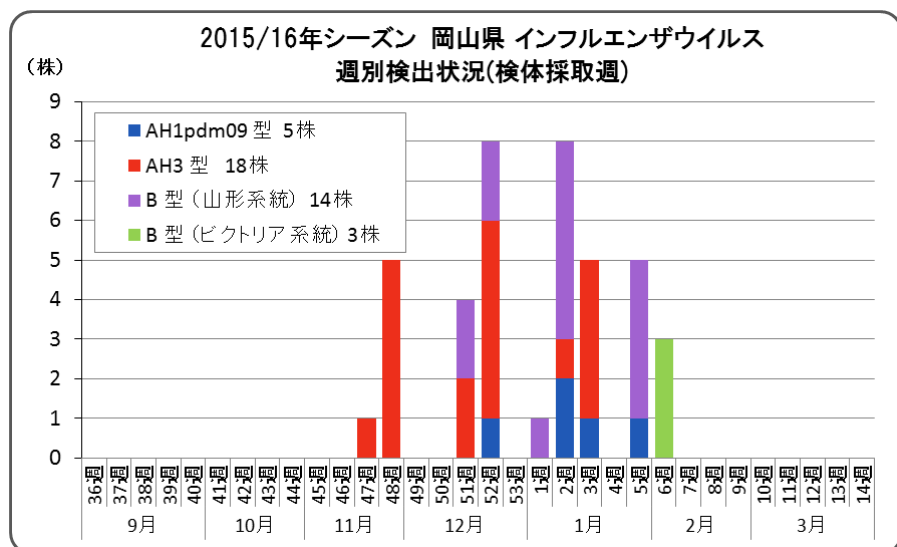
第8週、環境保健センターで判明したインフルエンザウイルスは、7株（詳細は下表参照）でした。今シーズン、これまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型 18株（45%）、B型〔山形系統 14株・ビクトリア系統 3株〕（43%）、AH1pdm09型 5株（13%）となっています。昨シーズンは、AH3型が検出株の大部分を占めていましたが、今シーズンは複数のインフルエンザウイルスが同時に検出されています。

今シーズン、全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH1pdm09型の検出割合が最も多く56%、次いでB型が30%、AH3型が14%の順となっています。（2016年2月26日現在）

[インフルエンザウイルス分離・検出速報\(国立感染症研究所\)](#)

【第8週 判明分】

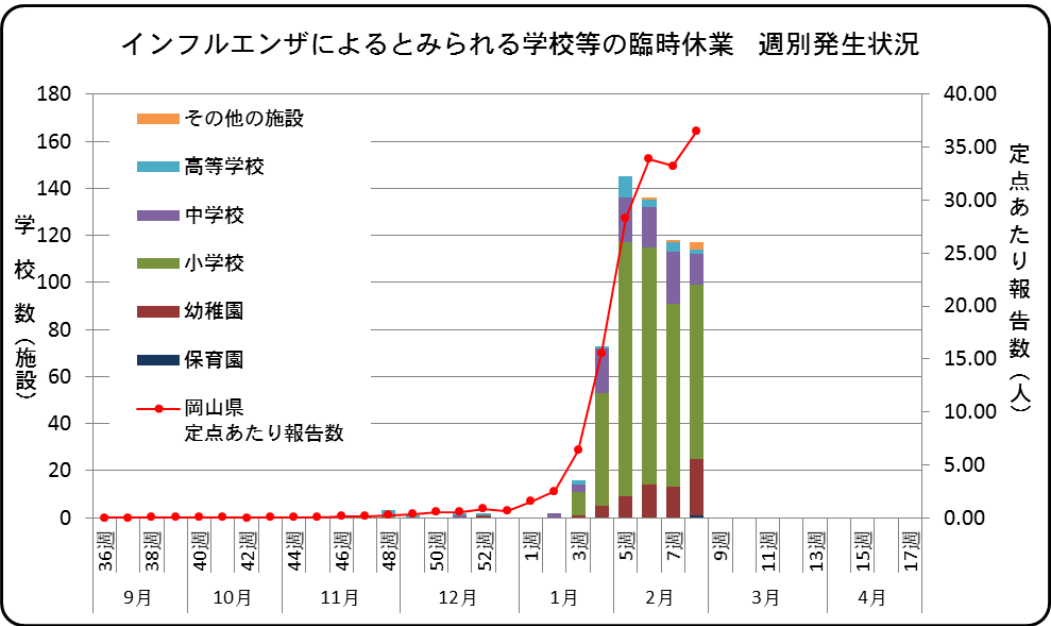
ウイルス名	検体採取週	検体採取日	地域	年齢	性別	備考
インフルエンザウイルスB型	2016年第6週(2/8～2/14)	2016/2/10	真庭	中学生	女	集団発生事例 ビクトリア系統
インフルエンザウイルスB型	2016年第6週(2/8～2/14)	2016/2/10	真庭	中学生	女	集団発生事例 ビクトリア系統
インフルエンザウイルスB型	2016年第6週(2/8～2/14)	2016/2/10	真庭	中学生	女	集団発生事例 ビクトリア系統
インフルエンザウイルスAH1pdm09型	2016年第3週(1/18～1/24)	2016/1/18	岡山市	50代	女	
インフルエンザウイルスAH1pdm09型	2016年第2週(1/11～1/17)	2016/1/16	岡山市	20代	女	
インフルエンザウイルスB型	2016年第2週(1/11～1/17)	2016/1/14	備中	小学生	男	山形系統
インフルエンザウイルスB型	2016年第2週(1/11～1/17)	2016/1/12	岡山市	20代	男	山形系統



4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が 117 施設でありました。

【第 8 週 臨時休業施設数】▽岡山市 39 ▽倉敷市 23 ▽津山市 8 ▽総社市 7 ▽井原市 6 ▽新見市 6
▽笠岡市 5 ▽玉野市 4 ▽備前市 4 ▽真庭市 4 ▽高梁市 3 ▽瀬戸内市 2
▽赤磐市 1 ▽美作市 1 ▽早島町 1 ▽矢掛町 1 ▽鏡野町 1 ▽久米南町 1



1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	1586	9983	1255	7464	117	615	6	13	40	123	71	479	H27.11.24
岡山市	602	4340	474	3192	39	241	1	1	8	32	30	208	H27.11.24
倉敷市	285	2834	238	2142	23	170	2	5	5	12	16	153	H27.12.15
備前地域	147	673	121	527	11	48	0	1	6	24	5	23	H27.11.24
備中地域	225	1287	182	1010	20	93	—	—	8	23	12	70	H27.11.24
備北地域	91	220	74	146	9	23	1	2	8	17	0	4	H28. 2. 3
真庭地域	36	89	31	84	4	8	1	1	3	7	—	—	H28. 2. 1
美作地域	200	540	135	363	11	32	1	3	2	8	8	21	H28.1.25

2) 臨時休業施設数の内訳

第 8 週：117 施設

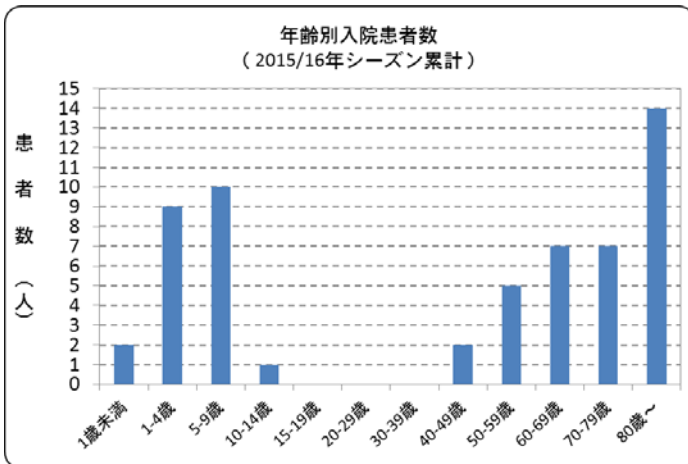
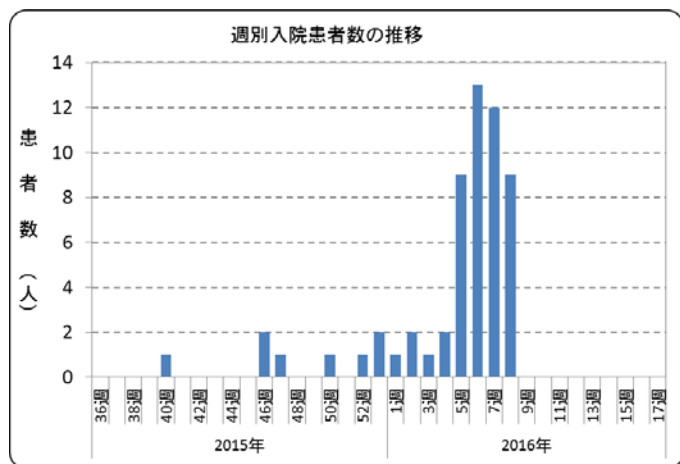
累計：615 施設

	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	1	1	24	67	74	420	13	96	2	26	3	5

5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、9 名（1～4 歳 2 名、5～9 歳 1 名、60～69 歳 2 名、70～79 歳 3 名、80 歳以上 1 名）の報告がありました。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので注意が必要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずとうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関に相談しましょう。



【第 8 週 入院患者報告数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数		2	1							2	3	1	9
ICU 入室											1		1
人工呼吸器の利用													
頭部 CT 検査(予定含)													
頭部 MRI 検査(予定含)													
脳波検査 (予定含)													
いずれにも該当せず		2	1							2	2	1	8

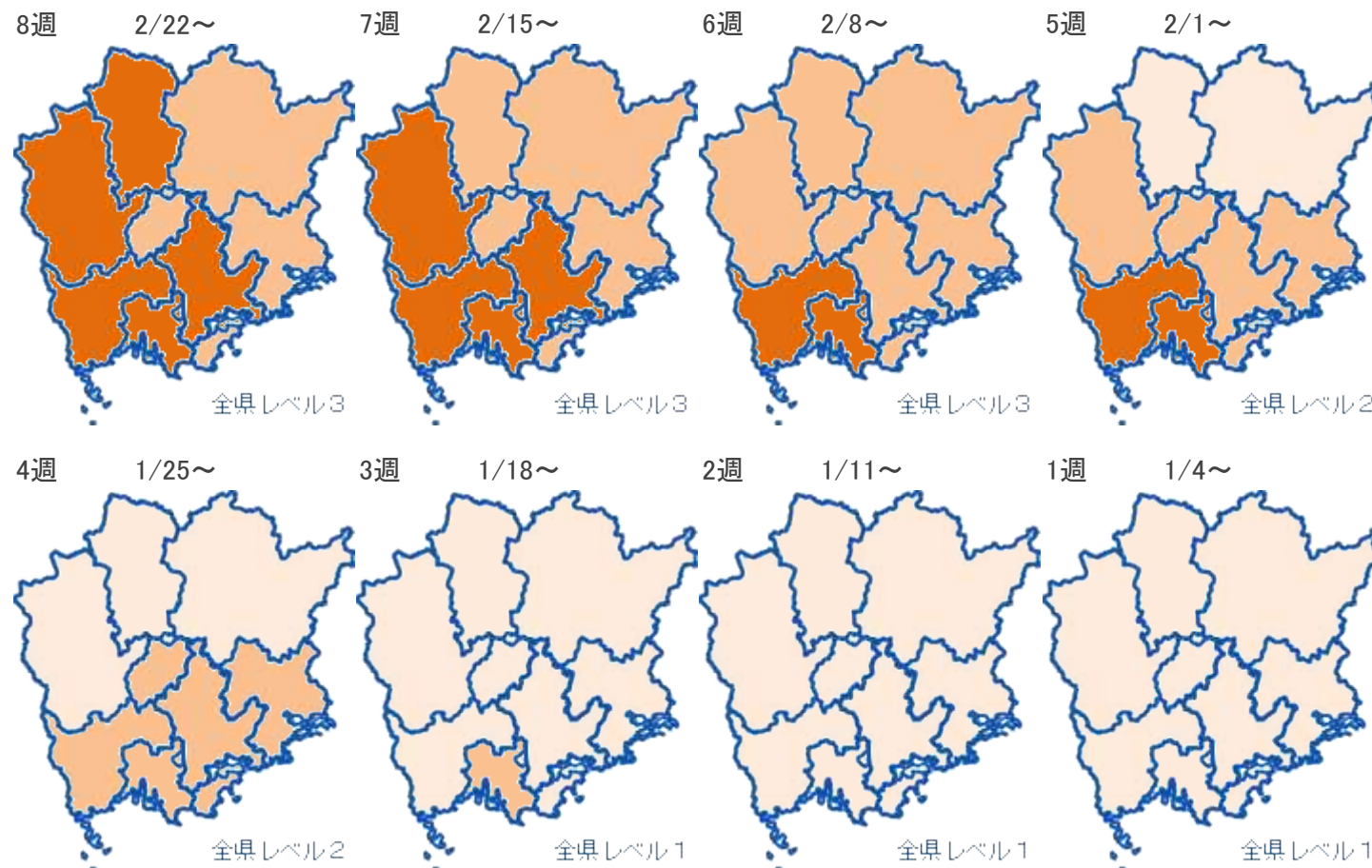
【2015 年 8 月 31 日以降に入院した患者の累計数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数	2	9	10	1				2	5	7	7	14	57
ICU 入室			1						1	1	1		4
人工呼吸器の利用			1						1	1	1		4
頭部 CT 検査(予定含)		3							1	1	1	4	10
頭部 MRI 検査 (予定含)				1								1	2
脳波検査 (予定含)		1	1										2
いずれにも該当せず	2	6	9					2	2	5	4	10	40

* 重複あり



インフルエンザ



レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。